

千葉ステーションビル ESG Report 2022

発行:2022年6月16日

ちばSDGsパートナー
登録番号:567



千葉県PRマスコットキャラクター
チーバくん

目次

1. 企業情報
2. トップメッセージ
3. 千葉ステーションビルのESG
4. 安全・安心の追求
5. 環境対策
6. 社会・地域への貢献
7. 企業統治(ガバナンス)
8. 人財育成

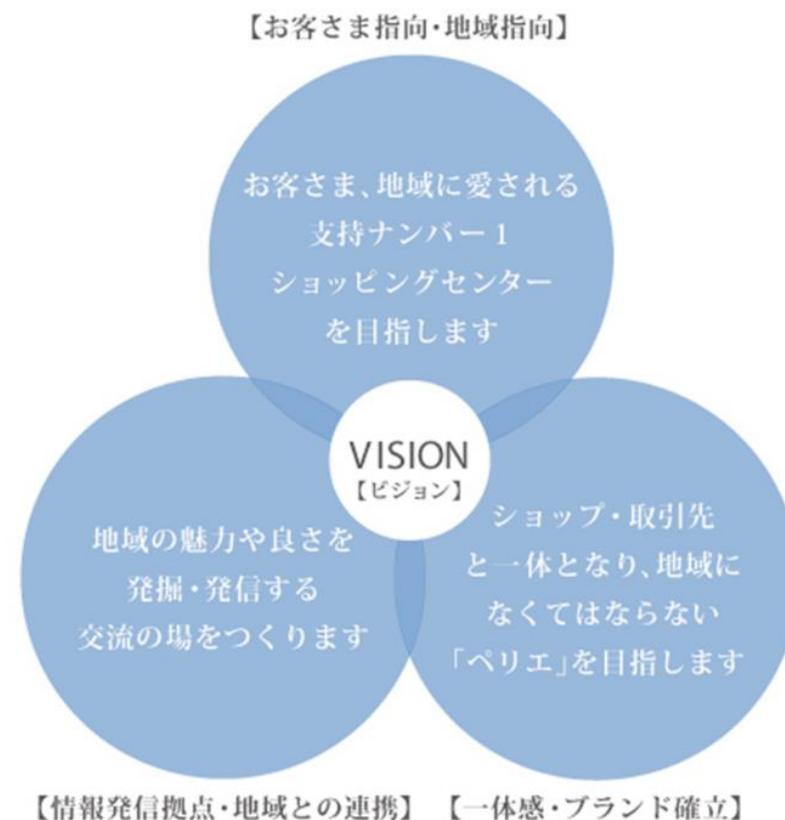
本レポートは、「2021年度(2021年4月1日～2022年3月31日)」を対象期間として作成しています。
なお、レポート内の文章・画像等の転載及び複製等の行為はご遠慮ください。

1. 企業情報

- ・ 会社名 株式会社 千葉ステーションビル
- ・ 所在地 千葉市中央区新千葉一丁目7番2号
ペリエ+plusビル
- ・ 会社設立 1961年 8月1日
- ・ 事業内容 商業施設の開発及び管理・運営
不動産の賃貸業・駅業務の受託
- ・ 資本金 2億円
- ・ 売上高 449億55百万円(2021年度テナント売上高)
- ・ 社員数 177名(2022年4月現在)
- ・ 事業所(施設名)
 - ペリエ千葉
 - ペリエ西千葉
 - ペリエ稲毛
 - ペリエ津田沼
 - ペリエ西船橋
 - ペリエステーション海浜幕張(ペリエ海浜幕張・海浜幕張駅)
 - ペリエステーション検見川浜(ペリエ検見川浜・検見川浜駅)
 - ペリエステーション稲毛海岸(ペリエ稲毛海岸・稲毛海岸駅)
 - 四街道駅ビル
 - アルカード茂原

● 企業理念 ●

私たちは、駅を中心とした交流の場を創出し、
お客さま満足を追求するとともに、
地域の皆さまに信頼される企業を目指します。



2. トップ メッセージ



代表取締役社長
弮間 俊則

当社はこれまで、駅ビル「ペリエ」を核とする商業施設の開発から運営までトータルで担う企業として、地域の活性化に取り組んでまいりました。

本レポートは、お客さま・地域の皆さまの豊かなくらしの実現に向けて、当社のESGに関する方針や取組み等について、当社の事業に関わるすべての皆さまにご評価いただくために、報告するものです。本レポートの閲覧を通じて当社へのご理解を深めていただくとともに、今後も変わらぬご愛顧をたまわりますようお願い申し上げます。

【Environment／環境】について

エネルギー消費や温室効果ガス排出量が少ない施設運営や環境負荷の少ないサービスの実践を通じて、脱炭素社会の実現に貢献していくことは、くらしを支える会社としての社会的使命であると考えています。また、山や海など自然が豊かな千葉県においては、「環境リスク」が経営に大きな影響を与えると認識しており、事業を通じて地域の環境保全や災害のリスク低減に努めています。

【Society／社会】について

新型コロナウイルス感染症の拡大という状況下において、お客さまをはじめ、当社事業に関わるすべての皆さまの「安全・安心」を第一に感染拡大の防止に努めています。また、地域の活性化に向け、「千産千消活動」の推進や産学連携を通じた人財育成・キャリア支援に取り組んでいます。

【Governance／企業統治】について

コンプライアンス・ガバナンスの強化と継続的な見直し、これに基づく業務改善は、社会からの信用が事業の大前提である当社にとって経営の根幹です。また、事業を担うのは「人」であり、多様な人財が活躍できる環境の整備を進め、育児・介護と仕事の両立や在宅勤務制度の導入など、多様な働き方の支援を推進しています。

3.千葉ステーションビル のESG

- 私たちは、「安全・安心」を経営のトッププライオリティに掲げ、事業基盤であるお客さま、地域、テナント・取引先の皆さまからの「信頼」を高めるとともに、すべての人の生活における『豊かさ』の実現を目指します。
- そのうえでESG (Environment／環境・Society／社会・Governance／企業統治) 経営を実践し、事業活動を通じて、地域における社会的な課題の解決に貢献します。



4.「安全・安心の追求」

ショッピングセンターの運営に加え、京葉線で駅業務を受託する当社では、社員一人ひとりが、日頃からお客さまに安全で安心してご利用いただける館・駅づくりに取り組んでいます。

1 安全・安心な館づくり

① 感染症対策の強化

新型コロナウイルスの感染がなかなか収束しない中で、お客さま・店舗スタッフから感染防止対策が強く求められています。当社では、社員・店舗スタッフの体調管理をはじめ、お客さまにもご利用いただける手指消毒アルコールやアクリル板の設置などに努めました。



サーモカメラによる体温管理
サーキュレータでの空気循環



アクリル板による飛沫防止



手指消毒アルコールの設置



紫外線照射装置の設置

② 食品衛生管理の向上

ペリエ全館の食物販及び飲食店を対象とした衛生検査を外部に委託し、食品衛生管理の向上に努めています。また、改善対応が進まないテナントにおいては、適宜、テナントの本部と協議を行い、原因究明と管理体制の改善に努めています。

【主な検査内容】

○厨房検査

- ・拭取検査
手指・包丁・まな板・トング・ボウル(ざる)・冷蔵庫取手を対象
- ・目視点検
製造設備・製造過程、異物混入防止、従事者衛生管理ほか

○表示点検

- ・飲食店 メニューのアレルギー情報の記載の有無と正確さ
- ・物販店 表示ラベル・プライスカード等の表示が適切か

○食材検査

- ・お客さまに提供する状態の食材を収去し、細菌数の良否を判定
- ・販売商品を検査機関へ持ち帰り、細菌数の良否を判定

4.「安全・安心の追求」

2 防火・防災の取組み

消防訓練・防災訓練を定期的実施しているほか、防火管理者会議を開催し、防火意識の向上に努めています。また、夏季と年末年始における安全総点検の実施や救急救命講習の受講を推進しています。ペリエ千葉等では、消防法に基づいた検査を受けた結果、法令の遵守状況が優良であるとして、消防長や消防署長から防火対象物定期点検報告制度の特例認定を受けています。

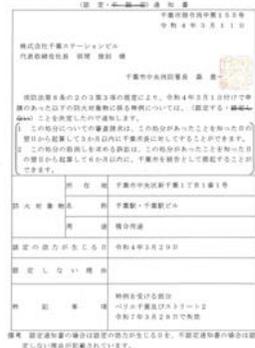
《全社防災訓練》



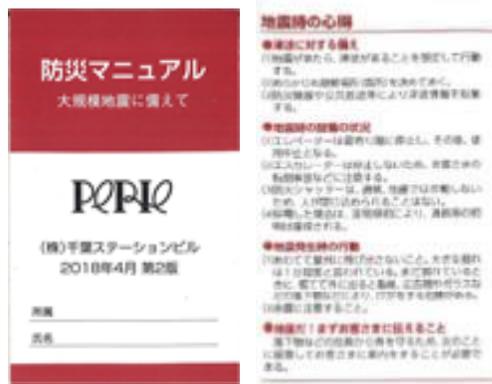
《駅・SC合同での消防訓練》



《防火対象物定期点検報告制度の特例認定通知書》



《防災マニュアルの配付》

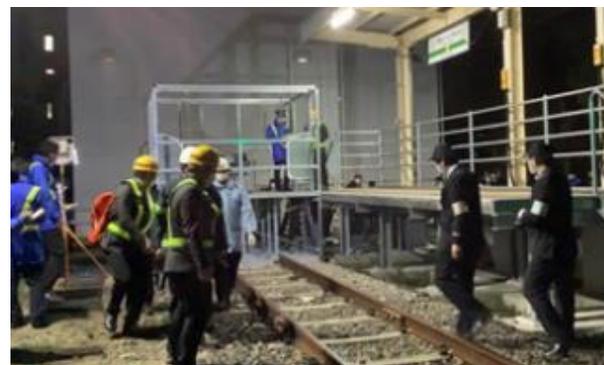


3 安全・安定輸送の確保

JR東日本より駅業務を受託し、運営を行う当社においては、輸送の安全・安定を確保するためにJR千葉支社の訓練施設等を活用して、様々な訓練に取り組み、社員のスキルアップを図っています。また、サービス品質向上のため、勉強会等で知識の習得に努めています。

《異常時対応技能の向上》

人身事故など異常時の対応技能向上のため訓練を実施しています。



《営業知識の向上》



4.「安全・安心の追求」

4 サービス品質の向上

《接客ロールプレイング大会の実施》

日本ショッピングセンター協会が主催する「接客ロールプレイングコンテスト」の社内予選を兼ねて実施しました。テナントの皆さんが、日頃の接客技術を披露するとともに、他店の取り組みや技術を共有する有意義な場になっています。大会の様子は、新型コロナウイルス感染防止の観点から、会場での観覧を最小限に抑え、ZOOMによるLive配信を行いました。



《2020年度サービス品質向上の取り組みに対する感謝状を受賞》

ペリエステーション海浜幕張（海浜幕張駅）でのサービス品質向上の取り組みに対し、JR東日本の鉄道事業本部長から感謝状を受けました。表彰式は、時節柄、オンライン形式で行われました。



5.「環境対策」

当社は、事業活動によって、多くのエネルギーを消費し、廃棄物が生じることから、エネルギーマネジメント体制を構築して、環境問題にも積極的に取り組み、持続可能な社会の実現に努めています。

1 環境データ推移(ショッピングセンター関係)

資源・廃棄物の種類		単位	2019年度	2020年度	2021年度
エネルギー使用量(原油換算)		kl	5,098	4,852	4,646
エネルギー原単位			0.04152	0.03952	0.03873
対2019年度比				95.2%	93.3%
一般廃棄物	リサイクル率	%	65	61	64
産業廃棄物	リサイクル率	%	52	47	72
水資源		m ³	106,775	101,039	95,599
紙資源		kg	6,703	4,387	4,875

○一般廃棄物

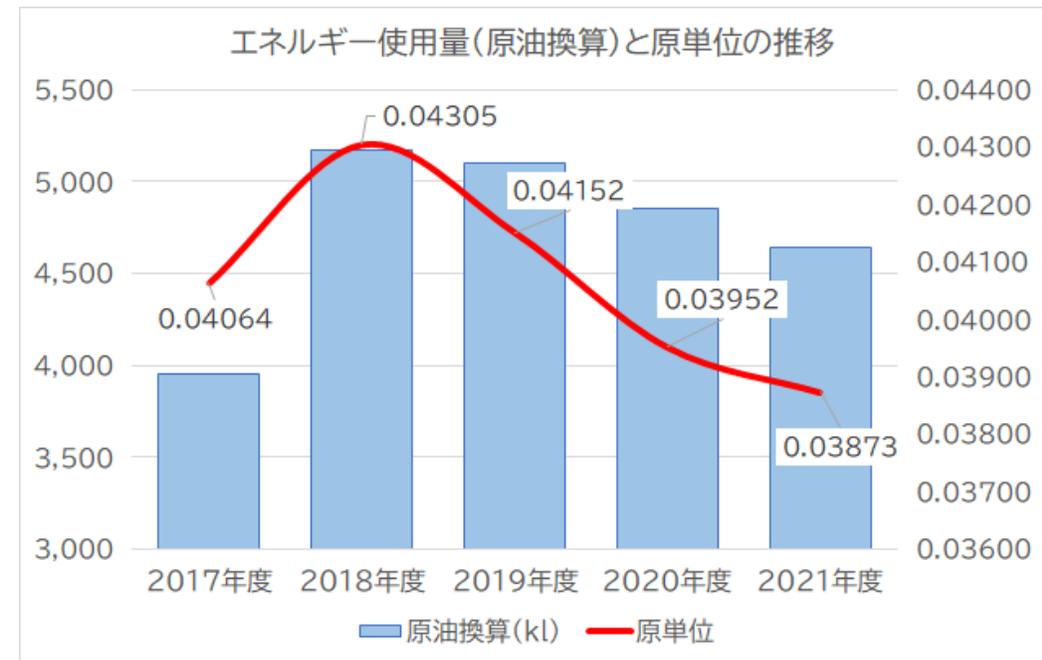
営業活動の再開で廃棄物量は増加しましたが、ペリエ西船橋の食品廃棄物処理会社を2021年7月より再生処理可能な会社へ変更したことでリサイクル率が向上しました。

○産業廃棄物

廃棄物量の減少と合わせ、汚泥の処理会社を2021年9月より再生処理可能な会社へ変更したことで、リサイクル率が大幅に向上しました。

○エネルギー原単位の推移

2021年度のエネルギー原単位は、0.03873で、対2020年度削減率は▲2%でした。これにより、2017年度から2021年度までの削減率の5年度間平均は、▲1.2%となり、設定目標の▲1.0%をクリアしています。



※2018年度は6月にペリエ千葉がグランドオープンしたことにより増加。このため、当社は2019年度比を基準としています。

5.「環境対策」

2 JR東日本グループ「ゼロカーボン・チャレンジ2050」への取組み

【当社の環境長期目標】

廃棄物の削減

2030年度までに
2019年度比10%削減

リサイクル率の向上

2030年度までに
2019年度比10%向上

エネルギー(原油換算)原単位

5年度間平均 1%削減

2030年度のCO2排出量

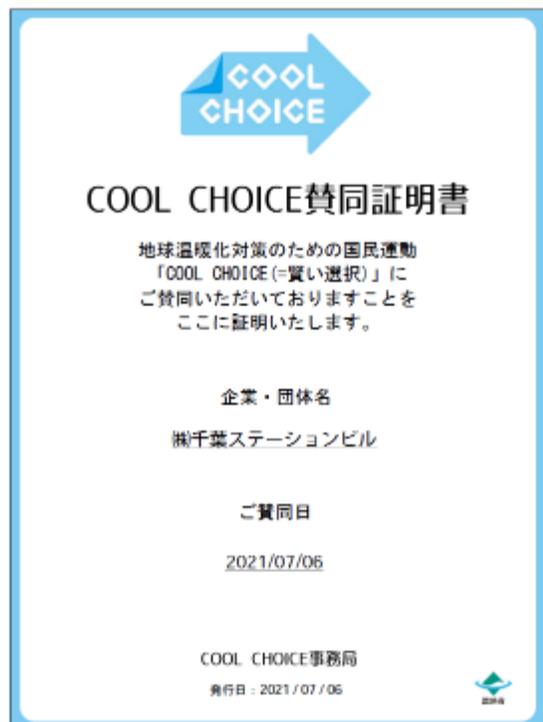
2019年度比50%削減



5.「環境対策」

3 「COOL CHOICE」運動への賛同

- ・「クールチョイス」は、2030年度の温室効果ガス排出量目標達成のため省エネ・働き方など、温暖化対策に資する「賢い選択」を促す環境省が推進している活動（運動）です。
- ・当社は7月にこの運動の賛同企業にエントリーし、環境意識の向上や対策に取り組んでいます。



4 衣料品廃棄ロス削減

《日本リユースシステム(株)と連携した古着下取りイベントの実施》

- ・ペリエ千葉・ペリエ稲毛において、着なくなった服や古着などを下取りし、下取りをさせていただいた方に、キャンペーンの協賛テナントで使用できるお買物券をプレゼントするイベントを開催、2館・4日間で約1,600名の方が来場しました。
- ・回収された衣類は、運営会社の日本リユースシステム(株)の『古着deワクチン』を通じて開発途上国へ送られ、再利用されます。

■来場者数

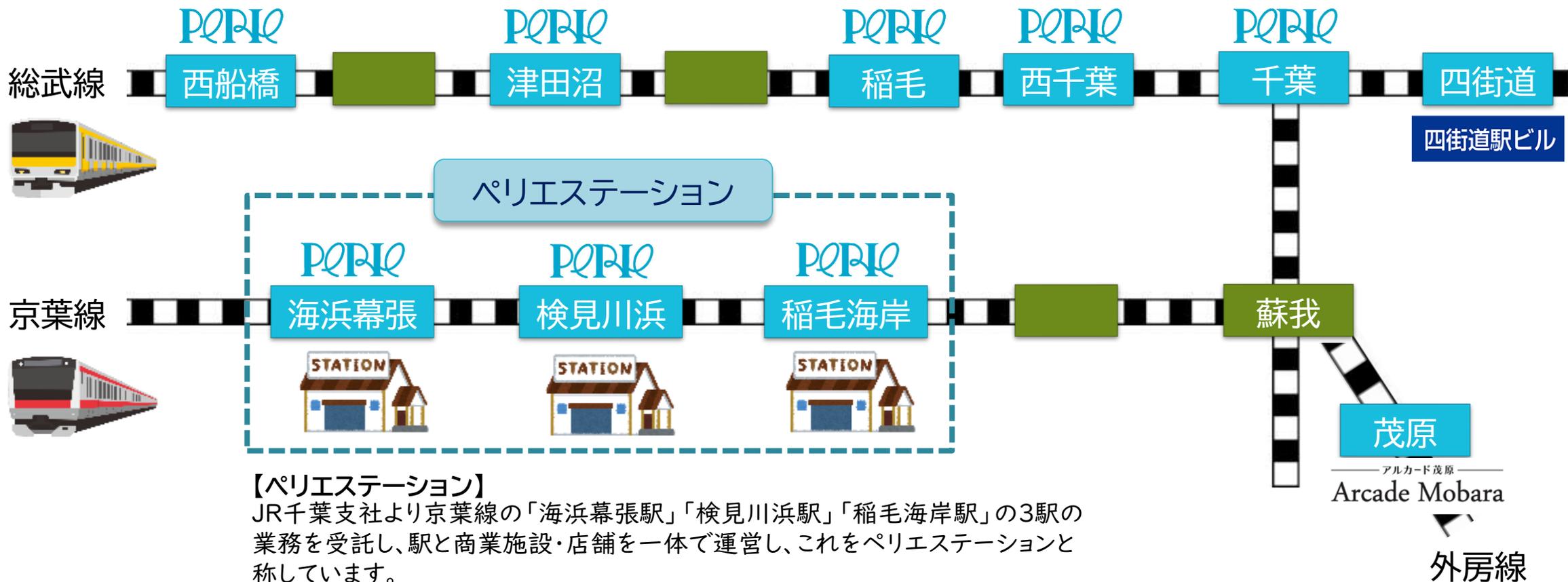
千葉(3月20・26日計)・862名／稲毛(3月18・19日計) 716名



6.「社会・地域への貢献」

1 社会とのかかわり

当社は、千葉に根差す企業として、まちの顔としての駅・ショッピングセンターの磨き上げや新規事業の展開を通じて「地域の魅力や良さ」を発掘・発信し、千葉の活性化に努めています。



6.「社会・地域への貢献」

2 千産千消の促進

《「ちばのいち」の開催》

千葉県が生産者がいち(一)丸となって作った逸品を紹介するいち(市)場である「ちばのいち」をはじめ、地元の製品の消費拡大・生産者支援に取り組んでいます。



《ペリエマルシェ(千葉店・西船橋店)の開業》

千葉県産や日本のおいしい野菜や果物、千葉の素材を使用した加工品などを幅広く取り揃え、「食」を通じて千葉の魅力を発信し、千葉ブランドの向上、地域活性化へつなげる店舗として千葉駅・西船橋駅に開業しました。



西船橋店
11月10日オープン



千葉店
11月26日オープン



《第4回千葉えきまつりの開催》

千葉の中心市街地の魅力のPRと活性化を目的に、ペリエ千葉、そごう千葉店、C・oneの3店と千葉駅を発着する鉄道3社が連携し、イベントを開催しました。

3つの商業施設をつなぐお買い物スタンプラリーのほか、ペリエ千葉では、協賛店舗の「立候補メニュー」に投票する「メニュー超選挙!」を実施し、消費の拡大に努めました。



《特急列車を用いた地元産品の輸送・販売》

列車荷物輸送の速達性を活かし、多くのお客さまに鮮度のいい地元産品をご賞味いただきたいという強い思いから実証実験を行っています。



6.「社会・地域への貢献」

3 地元産品の発掘・商品化

《SCビジネスフェア2022への出展》



パシフィコ横浜で開催されたSCビジネスフェア2022に出展し、千葉のいいものを来場者に発信しました。

また、「PERIE Online JRE MALL店」「ペリエマルシェ」のECとリアルの場を活用した地域活性の取り組みをPRしました。

《EC商談会の開催》

千葉県産品の発掘と販路ならびに認知の拡大を目的に千葉県による「ちばのキラリ商品支援事業（地域ネットワーク構築支援）」と協業し、11月に6回の商談会を開催しました。

①スイーツ及びスイーツに合うお茶・コーヒー、②調味料、③酒類、④惣菜・おつまみの4つの区分で実施し、成立した22ブランド・約200点を当社ECサイト等で公開しました。



4 キャリア支援・産学連携

《千葉ビューティー&ブライダル専門学校との取り組み》

専門学校の生徒による「パーソナルカラー診断&無料ポイントメイク」の施術を実施しました。生徒の皆さんにとってもお客さまとの対話など授業では経験できない経験の場となっています。



《県立幕張総合高校・キャリアセミナーへの参加》

1年生の行事であるキャリアセミナーに参加し、当社の仕事内容を紹介し、職業のイメージ醸成に協力しました。



6.「社会・地域への貢献」



5 地域の様々なパートナーとの連携

《えきなか動物園の開催》

千葉市動物公園とペリエステーション海浜幕張が連携。動物公園よりアルパカを招き、1日駅長に任命。アルパカとの記念撮影や動物公園とのLIVE中継などのイベントを実施しました。

また、このご縁で同園が実施したクラウドファンディングに賛同メッセージを送りました。



《ジェフユナイテッド市原・千葉へのスポンサード》

オフィシャルパートナー企業として、サッカーを通して、地域の皆さまの心身の健全な発達に貢献しています。

コロナ禍で奮闘するジェフユナイテッド市原・千葉の選手、サポーターを応援するため、選手のオススめグルメや、選手への応援メッセージの投稿、ユニフォーム・写真展示を開催。サポーターからのメッセージは、ジェフユナイテッド株式会社へ進呈しました。



6.「社会・地域への貢献」

《千葉県「ちばアート祭」コラボ企画》

「ちばアート祭2021」のサテライト会場としてペリエ千葉が連携。館内でのアート展示、ショップでのコラボメニュー・商品展開、ワークショップなどを開催しました。



《「ちばフェアトレードマーケット」の開催》

「フェアトレードちば」の活動に協力し、世界と千葉の作り手たちのストーリーに触れ、環境・貧困・人権・地域活性化を考える催事を開催しました。



《ちばSDGsパートナーの認定》

千葉県がSDGsの推進に向け、県内の企業等におけるSDGs推進の機運を醸成し、具体的な取り組みを後押ししていくために制定した「ちばSDGsパートナー」制度において、2022年3月23日、パートナー企業（登録番号：567）に認定・登録されました。



SDGs達成に向けた宣言書

令和4年2月22日
所在地 千葉市中央区新千歳一丁目6番1号
千葉駅ビル第2別館2階
名称 株式会社 千葉ステーションビル
代表者 須岡 俊樹

当社は、SDGsの内容を理解し、SDGs達成に貢献することを宣言します。

1. 関係するSDGs目標（ゴール）（該当するゴールに○を入れてください）

目標1	○	目標2	○	目標3	○	目標4	○	目標5	○	目標6	○
目標7	○	目標8	○	目標9	○	目標10	○	目標11	○	目標12	○
目標13	○	目標14	○	目標15	○	目標16	○	目標17	○	目標18	○
目標19	○	目標20	○	目標21	○	目標22	○	目標23	○	目標24	○
目標25	○	目標26	○	目標27	○	目標28	○	目標29	○	目標30	○
目標31	○	目標32	○	目標33	○	目標34	○	目標35	○	目標36	○

2. SDGs達成に向けた経営方針等

地域の様々な企業・団体、学校等と連携し、持続可能な社会づくりや地域を支える人材育成・キャリア支援に取り組んでいます。
女性をはじめ、様々な人が働きやすい職場、お客さまが「安全・安心」にご利用いただける店舗づくりを進めます。
地域の活性化に向け、「千葉千歳活動」を推進するとともに、商品を購入された方々にもSDGsを知ってもらえるよう、普及啓発に取り組めます。

6.「社会・地域への貢献」

6 地域に寄り添う活動

《チャリティ・社会支援活動》

ペリエステーション3駅（海浜幕張・検見川浜・稲毛海岸）において10月の1カ月間、使用済切手・古書の回収活動を行い、使用済切手は、約2.1kg・古書は約1,300冊回収することができました。



10/1~10/31
海浜幕張駅・検見川浜駅・稲毛海岸駅
おうちde眠っている
切手 古本
回収させて下さい
皆様、ご協力をお願い致します
回収BOX

※皆様のご協力で回収した切手は、千葉県ユニセフ協会から回収企業様に送られ、書に印した金額がユニセフ募金となり、世界の子どもたちへの支援となります。
※回収した古書はチャリボン(古本)に送り、NPO・NGO団体の活動資金となります。



ペリエステーション3駅合同
切手と古書の回収は
終了しました!!
皆様、ご協力
ありがとうございました
11月1日(月)現在
切手 2,081.7g
古書 1,293冊
寄付金額については
後日、お知らせいたします。

※皆様のご協力で回収した切手は、千葉県ユニセフ協会から回収企業様に送られ、書に印した金額がユニセフ募金となり、世界の子どもたちへの支援となります。
※回収した古書はチャリボン(古本)に送り、NPO・NGO団体の活動資金となります。



切手は、千葉県ユニセフ協会を通して収集企業に送られ、ユニセフ募金に、古書は、(株)バリューブックスに送り、査定金額が「子供食堂支援NPO法人全国子供支援センターおすびえ」に寄付されました。

《環境美化活動》

ペリエステーションでは、駅社員、ペリエ運営社員、ショップ店員が協力して駅構内や周辺の美化活動（クリーンアップデー）を実施しています。



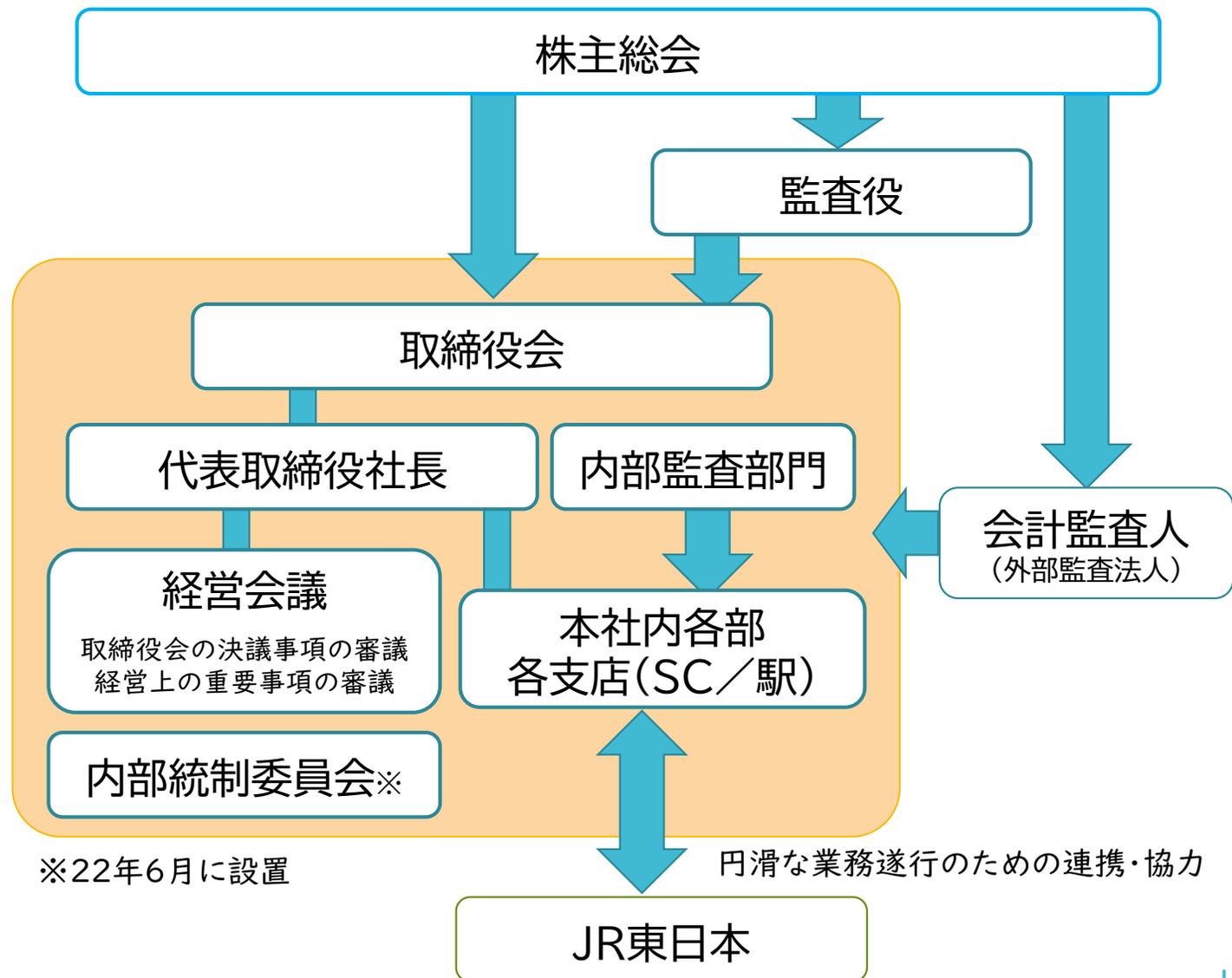
終電後、線路内やホーム下に落ちていたゴミを拾う「線間清掃」という定期的な清掃活動をJR新浦安駅と協力して実施しています。

7.「企業統治(ガバナンス)」

1 企業統治(ガバナンス)

- 当社は、原則として年10回取締役会を開催し、重要な業務執行の決定・監督を行っています。
- 取締役会では、社外より取締役を3名・監査役を1名受け入れ、幅広い視点から議論を行っています。
- また、原則として週1回、経営会議を開催し、取締役会の決議事項や経営上の重要事項の審議を行っているほか、22年度より新たに内部統制委員会を設置することとし、ガバナンスの強化を図ります。
- さらに内部監査部門が、本社内各部・各支店を対象として、適法かつ効率的な業務執行を確保するための監査を定期的を実施し、その結果について、経営会議に報告を行い、課題の解決や不正・誤りの防止に努めています。
- 監査役は、経営会議や取締役会など重要な会議への出席などを通して、各取締役の業務執行の監査を行っています。
- 会計監査については、会計監査人(有限責任あずさ監査法人)が監査を行っています。

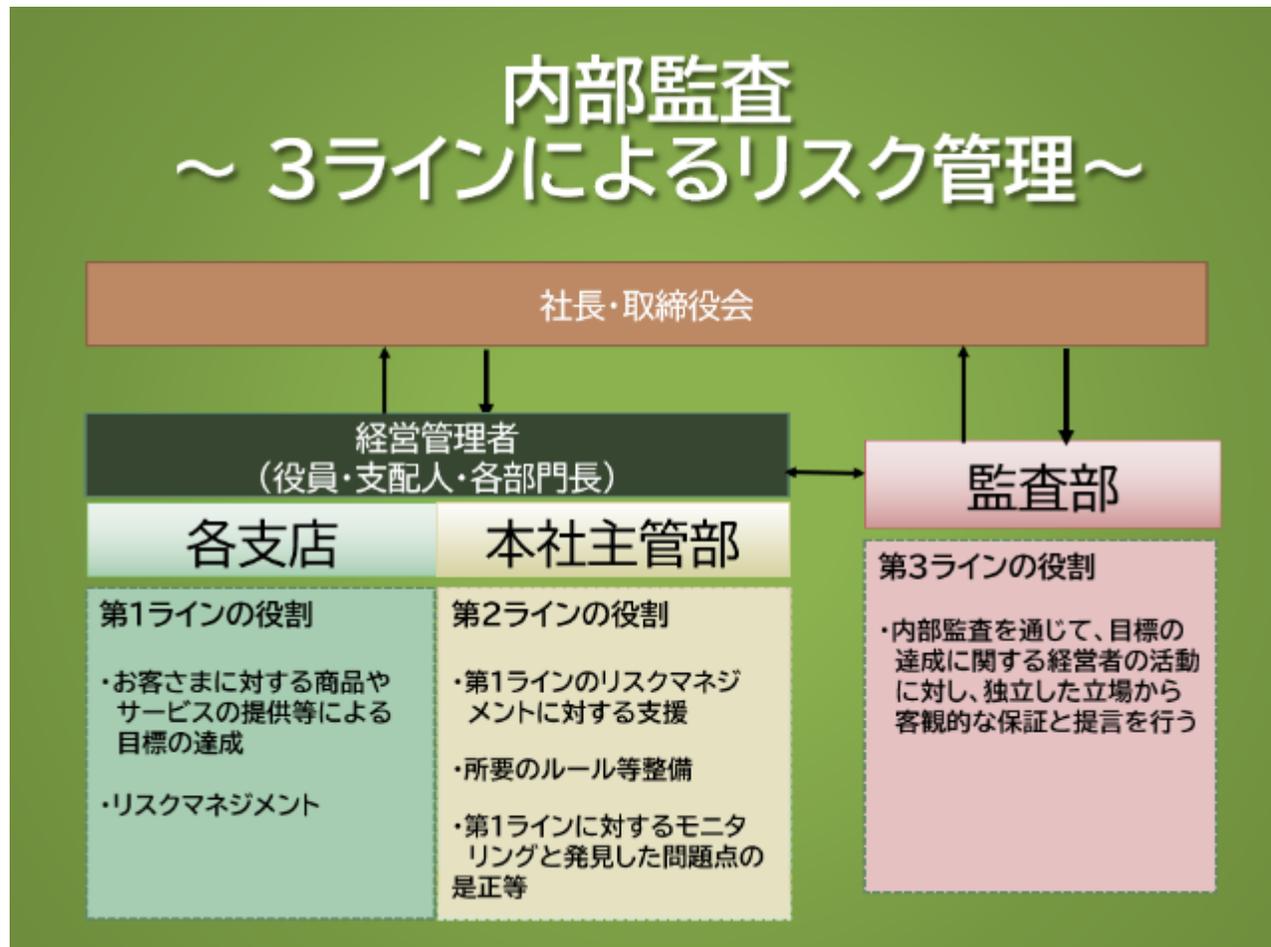
【企業統治イメージ図】



7.「企業統治(ガバナンス)」

2 内部監査の充実

「統制状況の監査」を通じて、3ラインモデルによる内部統制の定着・ガバナンスの強化を目指しています。



3 コンプライアンス教育の実施

全社員に対し、JR東日本グループ共通の「コンプライアンスアクションプラン」・「情報セキュリティ10ヶ条」を教材として、毎年、集合教育を実施し、職場におけるハラスメント防止や情報セキュリティの重要性の徹底を図っています。

また、当社のWebサイトには、当社内に設置した「公益通報者保護法に関する相談窓口」を掲載し、社員をはじめ、取引先従業員からの相談等に対応しています。



8.「人財育成」

1 雇用と人財育成

当社が持続的な成長を続けるには、年度毎に採用計画をたて、優秀な人財の確保に取り組むとともに、将来の事業展開を見据え、多様な人財を採用・育成していくことが不可欠です。

そのため雇用にあたっては、新卒採用と社会人採用をバランス良く実施しています。

また、経験豊富な高齢者の雇用にも継続して取り組んでいます。

また、人財育成にあたっては、多様な働き方が可能な環境をベースに

・多様な人財の活躍推進
・キャリア開発の推進 により、社員一人ひとりがお客さまや地域の皆さまに信頼される人財となるよう育成しています。



経験年数に応じた実践型研修を実施しています。

お客さま・地域の皆さまに信頼される人財

キャリア開発の推進

社員が意欲を持って、
自らの能力開発に取り組める
教育プログラム
ジョブローテーションの実施

- 新卒の育成
- ・将来の事業展開に沿う新入社員育成プログラムの検証と見直し
- キャリアアップ支援
- ・次世代を担う管理者の育成
- ・セミナー・研修の充実
- JR東日本グループ内での人事交流

多様な人財の活躍推進

社員の一人ひとりが
生き生きと活躍する場の整備

- 若手の登用促進
- 女性の活躍の場の拡大
- 高齢者雇用の促進

多様な働き方の推進

社員が安心してワークライフ・バランスを取り、能力を發揮できる

- フレックス制度・テレワーク環境整備
- 出産・育児・介護者に対する勤務制度
- 「くるみん」認定の取得
- リフレッシュ休暇

8.「人財育成」

全社員数:177名(うち:女性59名)2022年4月

月平均所定外
労働時間

- ・ 15時間49分

平均有給休暇
取得日数

- ・ 14日

育児休業取得
対象者数

- ・ 男性:1名
- ・ 女性:2名

育児休業
利用者数

- ・ 男性:1名
- ・ 女性:2名

短時間勤務
制度利用者

- ・ 2名

過去3年間の
新卒採用者数

- ・ 22年:4名
- ・ 21年:6名
- ・ 20年:3名

過去3年間の
新卒離職者数

- ・ 21年:0名
- ・ 20年:1名
- ・ 19年:0名

女性管理職の
比率

- ・ 27.3%



22年表記のあるものを除き、各データは、2021年度実績となります。新卒離職者数は、入社年度社員の実績です。



当社では、お知らせや催事情報などの紹介を、ホームページやSNSで発信しています。ぜひ、ご覧ください。



<https://www.perie.co.jp/>



<https://www.facebook.com/perie.chiba/>

